

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）		入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	
武庫川女子大学大学院建築学研究科建築学専攻修士課程では、本学の定める修業年限以上在学し、所定の履修方法に従って62単位以上を修得し、「立学の精神」に基づく次の資質・能力を身につけたうえで、論文審査および試験に合格した者に対して、課程修了を認定し修士（景観建築学）の学位を授与します。 A 高い知性：高い「理性」により、「強」や「用」を含む「真」の視点から建築・景観的事象を理解するための高度な「知識」を修得し、さらに修得した「知識」の統合により問題を解決する実践的能力を修得している。 B 善美な情操：「感性」豊かな個性を、関連する「知識」や実践的「創作」活動により磨き、地域の「美」的・「歴史」的・「文化」的価値を理解し、自然との共生の視点から地域の伝統的文化を創生できる実践的能力を修得している。 C 高雅な特性：地球環境・国家・地域社会において真に人間的な住環境を創生するために、社会的義務と責任を重んじ、自然との共生の視点を持って自律的に行動する「人格」を身につけている。 D 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合：「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を身につけ、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得している。 「MUKOGAWA COMPASS」に対応した具体的な資質・能力の内容は以下の通りです。				武庫川女子大学大学院建築学研究科景観建築学専攻修士課程では、本専攻の定めるディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。 建築から自然との共生、景観映像情報技術までをも対象とする景観建築学のより高度かつ実践的な学びを、建築と公園、都市などの広域の住環境をとともに対象とした建築・景観設計として統合する、スタジオ教育を中心とした教育課程とします。ディプロマ・ポリシーを修了時に達成できるよう、インターンシップ科目・演習科目・講義科目・実習科目からなり、62単位を修了要件とする教育課程を編成します。これにより、一級建築士の資格を得るために必要な実務経験2年を、修了時に満たす教育課程となります。 インターンシップ科目は、一級建築士の資格を得るために必要な実務経験要件を、修士課程修了時に満たす上で必要不可欠な科目です。本研究科内に設置した一級建築士事務所「建築・都市デザインスタジオ」における実務実習や、国内外の建築設計事務所や建設現場での設計・監理の実務などに参加します。また学生の興味、関心や進路に応じ、建築よりもより幅広い、景観設計・施工の実務に関わるインターンシップにも参加できます。 演習科目は、建築設計と景観設計を統合的に教育するスタジオ型の建築・景観設計教育です。インターンシップ科目とともに、カリキュラムの中核をなします。1年次の総合演習では学部より高度かつ実践的な建築・景観設計課題に取り組みますが、これは実務経験の一部を構成するインターンシップ関連科目（演習・実験・実習）として認められます。最終学期には修士設計または修士論文に取り組みます。 講義科目は、インターンシップや建築実務において必要不可欠な専門知識や実践的能力を身につけるインターンシップ関連科目（講義）と、景観映像情報技術や景観設計にかかわるより高度で最先端の専門知識に触れることができる講義科目によって構成します。 実習科目（フィールドワーク）は、他の科目で学習した知識や技術をより具体的に理解し、同時に自ら新しい問題を発見するための学外実習科目です。 語学科目は、語学力を養成する科目として、トルコ語を開講します。 インターンシップ科目・演習科目においては、教員の説明、スタジオでの一対一の対話型演習、中間講評や講評会における発表や教員の講評、講義科目においては、講義・小テスト、実習科目においては、建築物や庭園・町並み・工事現場の見学、教員の説明、講演会への参加、レポート、語学科目においては、教員の説明や学生との対話、小テストといった学修方法を組み合わせることにより、学生の理解を高めます。 また、修了年次に提出する修士設計または修士論文およびその発表をもって、教育課程を通した学修成果の総括的評価を行います。		武庫川女子大学大学院建築学研究科景観建築学専攻修士課程では、「立学の精神」と「MUKOGAWACOMPASS」に共感し、これらに基づいた、本専攻のディプロマ・ポリシーを理解したうえで、本専攻のカリキュラム・ポリシーに則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する人の入学を受け入れます。	
武庫川女子大学人材育成方針 「MUKOGAWA COMPASS」の3要素 (知識・姿勢・行動) および8項目			MUKOGAWA COMPASSに対応する ディプロマ・ポリシーの項目			武庫川女子大学人材育成方針 「MUKOGAWA COMPASS」の3要素	
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	A-1	語学や諸学の基礎学力の修得および自らの主張を社会に提案し、合意を形成できる実践的能力を修得している。			
	2	“生きること”につながる専門性	A-2	構造や諸災害などに対する安全性を「強」として理解し、その基礎的・先端的技術を積極的に吸収し、演習や実習によって空間的に構成する実践的能力を修得している。			
			A-3	機能性や環境負荷などに関する快適性を「用」として理解し、その基礎的・先端的技術を積極的に吸収し、演習や実習によって最適な空間を構成する実践的能力を修得している。			
			A-4	コスト、スケジュールなど様々な制約条件を理解し、これらのもとで、適切な設計・施工計画を進められる実践的能力を修得している。			
			B-1	基礎的造形能力を培っている。			
			B-2	歴史・文化・国際社会・地球環境を理解する実践的知識を修得し価値観を身につけている。			
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	C	社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力と継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成している。			
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢					
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢					
行動	6	論理的に考え伝える力	A-1	語学や諸学の基礎学力の修得および自らの主張を社会に提案し、合意を形成できる実践的能力を修得している。			
	7	新たな価値を創造する力	D-1	「真」「善」「美」で極めた精神世界を統合し、住環境という実在するモノの世界に具体的・実践的に実現する能力を修得している。			
	8	多様な人々と協働する力	D-2	様々な専門家・技術者との共同の重要性を理解し、チームワークで建築をつくりこむことのできる能力を修得している。			